

- 5 青少年教育指導者等の養成及び資質の向上に関する事業
- イ ボランティアの養成・研修事業
- a ボランティアの養成事業

自然体験活動ボランティア養成研修

〔主催〕 国立諫早青少年自然の家

〔期日〕 令和5年6月17日（土）～18日（日） 1泊2日

〔活動場所〕 国立諫早青少年自然の家

〔参加者〕 高校生以上の方19名（高校生4名、大学生13名、社会人2名）

〔担当職員〕 貞方 貴衣、西田 尚由

1) 事業の趣旨

青少年の体験活動事業で活動するボランティアスタッフに求められる基礎的な知識・技術を習得するとともに、ボランティア活動への参加意欲を高める。

2) SDGsとの関わり



目標4 質の高い教育をみんなに
ボランティアの意義を理解し、多くの子供と接するきっかけを作る。



目標16 平和と公正をすべての人に
先輩ボランティアの意思を引継ぎ、自主的に活動を選択することができる。

3) 目標

- ①「自然の家にまた来て子供たちと一緒に活動したい」と感じてもらうこと。
- ②参加者同士の支持的風土を醸成する。

4) 研修プログラム

1日目	2日目
9:45 受付	6:30 起床
10:00 開講式	7:15 朝のつどい
10:30 【講義】活動時の心構えについて (ボランティア活動の意義 90分)	7:30 朝食(レストラン)
12:00 昼食(持参)	8:30 【説明】施設利用はどうするの? (青少年教育施設におけるボランティア活動② 30分)
13:00 【説明】どんなボランティア活動ができるの? (青少年教育施設におけるボランティア活動① 60分)	9:00 【講義・実習】応急手当を知ろう ※普通救命講習I(安全管理 180分)
14:00 【講義】なんで自然体験が大事なの? (青少年教育 90分)	12:00 昼食(レストラン)
15:30 【講義・実習】野外調理にチャレンジ! 夕食兼(ボランティア活動の技術 240分)	13:00 【講義】熱中症対策について
19:30 【講義】諫早自然の家ってなに? (青少年教育施設の現状と運営 60分)	13:30 【説明】どうやったら活動に参加できるの? (青少年教育施設におけるボランティア活動③ 30分)
20:30 入浴	14:00 アンケート記入・閉講式
21:45 就寝準備・就寝	14:30 解散

5) 事業展開

①【講義】ボランティア活動の意義



活動時の心構えについて講義を行った。

②【講義】青少年教育



体験を通して、青少年教育について学びを深めた。

③【講義・実習】ボランティア活動の技術



野外活動の技術習得の一つとして、野外炊事を行った。

④【講義・実習】安全管理



応急手当普及員の指導の下、普通救命講習Ⅰの実習を行った。

5) 評価

① アンケート結果（事業全体に対する満足度）

満足	やや満足	やや不満	不満
100%	0%	0%	0%

② 参加者の声

- ・スタッフの助言や指導を受けて学ぶことが多くあったので、自分もボランティアとしてどのように子どもと関わっていくべきなのか、これからもっと学んでいきたいと思った。
- ・AEDの使い方や熱中症対策について大事なことを学べたし、子どもとの関わり方についても考えさせられた。
- ・ボランティアの仲間ともこの研修を通して仲良くなることができたので、実際の活動にも参加して子どもたちや友達との仲を深めていきたい。

6) 成果と課題

① 成果

- ・大学の教授から学生へのメール配信を通じて広報にご協力いただいたことで、参加者を集めることができた。
- ・大塚製薬の熱中症対策講義や応急手当普及員による実習など、外部講師のご指導のおかげで、より深い学びを得ることができた。

② 課題

- ・カリキュラムをクリアするために時間が限られており、休憩時間や移動時間のゆとりを持たせることが必要だった。
- ・講師同士の連携を図り、講義内容の重なりが無いよう、コーディネートしていく必要がある。